

医療安全管理学実習

Practice of Medical Safety Management

薬：L1-03412MY、生命：L1-06412MS

医療科目 4年／前期 0.5単位 自由選択科目

科目責任者 臨床検査技師教育委員長

■教育目的

安全な検体採取および感染予防の手技・器具について理解する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-② SD-④ SD-⑤】

■学習到達目標

安全な検体採取(血液・鼻腔・咽喉)の手技を身につける「知識、技能」

手指衛生を通じ感染予防について理解する「知識、技能」

■準備学習（予習・復習）

予習：教科書等で実習内容の概要を把握しておく(30分以上)

復習：実習内容をよく整理し見直して、疑問点を残さないようにしておく(10分)

■授業形態

実習・フィールドワーク

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1～2	標準採血法と検体の取り扱い	採血器具の種類と特徴 標準採血法 検体の取り扱いと保存法	F(2)-⑥-13
3～4	鼻腔・咽喉からの検体採取と検査	鼻腔ぬぐい液・咽喉ぬぐい液の採取 簡易キットでの検査	F(2)-⑥-14
5～7	手指衛生と標準予防策	手指衛生 感染予防具の使用法	F(2)-⑥-12

■授業分担者

柿木 孝志(非常勤講師)、斎坂 ゆかり

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

実習レポート等（100%）にもとづいて総合的に評価する。

■教科書

「最新 臨床検査学講座 医療安全管理学」 諏訪部 章・高木 康・松本 哲哉 編(医歯薬出版)

■参考書

「JAMT 技術教本シリーズ 検体採取者のためのハンドブック」 一般社団法人 日本臨床衛生検査学会 監修(じほう)